



平成24年2月2日

報道機関各位

熊本大学

第10回熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター講演会
沿岸域環境科学の最前線ー基礎研究から保全・再生・防災までー

有明海・八代海は、熊本県民にとってなじみ深い海で、貴重な海産生物が多く生息する広大な干潟が広がっています。しかし、近年、生物多様性の減少、漁獲量の激減、赤潮の多発、台風による高潮災害など、数多くの問題が発生しています。熊本大学沿岸域環境科学教育研究センターでは、有明海・八代海を中心とする沿岸域環境に関する幅広い教育研究活動が行われています。さらに、東北大地震の支援として、センターの専門性を活かした事業を三陸沿岸で実施しています。本年度の研究成果を広く市民の皆様に公開し、地域に還元することを目的として開催される本講演会では、沿岸域環境に関する基礎研究から応用分野の保全・再生・防災まで、多岐にわたる話題提供が行われます。是非ご参加ください。

日時 平成24年3月22日（木）13:00～17:00

場所 熊本大学工学部百周年記念館（熊本県熊本市黒髪2丁目39-1）

対象 熊本大学、国及び熊本県関係者、一般市民 160名（定員）
（※事前の申し込みは必要ありません。）

内容 詳細は別紙チラシをご参照ください。

その他

本講演会では、センター教員以外に、客員教授からも話題提供が行われます。
なお、詳細は本学のホームページにも掲載されておりますので、ご覧下さい。

【問い合わせ先】

熊本大学教育研究推進部自然科学系事務ユニット
研究センター支援担当 TEL 096-342-3143

沿岸域環境科学の最前線

— 基礎研究から保全・再生・防災まで —

第10回 沿岸域環境科学教育研究センター—講演会

日時 2012年3月22日(木) 13:00 ~ 17:00

会場 熊本大学工学部 百周年記念館
熊本市黒髪 2-39-1 (熊本大学黒髪南地区)

入場無料 定員160名

■ 開会 / 13:00-13:10 挨拶：滝川 清 (沿岸域環境科学教育研究センター長)

■ 講演 / 13:10-17:00 (講演：25分, 質疑：5分)

13:10-13:40 「有明海におけるナメクジウオの個体群動態」

逸見 泰久 (生物資源循環系解析学分野 教授)

13:40-14:10 「八代海湾奥部における小型底生生物群集の動態」

嶋永 元裕 (生物資源循環系解析学分野 准教授)

14:10-14:40 「海藻付着細菌による環境モニタリング」

滝尾 進 (生物資源保全・開発学分野 教授)

14:40-15:00 休憩 (20分)

15:00-15:30 「環境と防災の調和した八代海再生の研究プロジェクト」

滝川 清 (水・地圏環境科学分野 教授)

15:30-16:00 「平成23年度震災復興・日本再生支援事業

(熊本大学・国立大学協会共催)の成果」

秋元 和實 (水・地圏環境科学分野 准教授)

16:00-16:30 「泥質干潟の保全と再生—シギの餌の観点から」

桑江 朝比呂 (沿岸域社会計画学分野 客員教授)

16:30-17:00 「有明海における懸濁物の輸送現象について」

中川 康之 (沿岸域社会計画学分野 客員准教授)

■ 閉会 / 17:00

■ 司会進行 / 秋元 和實

■ 共催 / 熊本大学拠点形成研究B:「閉鎖性沿岸海域における環境と防災、豊かな社会環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成」研究グループ

お問い合わせ

熊本大学 教育研究推進部 自然科学系事務ユニット 研究センター支援担当
TEL:096-342-3143 (直通)